

あかしあ

AKASHIA

- 発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会 理事長 岸本美恵子
 ●連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4-30-5
 電話 03(3849)1188
 FAX 03(3849)7001
 ●印刷足立区大谷田就労支援センター
 法人ニュース「あかしあ」隔月25日発行

平成22年度 第1回評議員会・理事会報告

5月25日に、平成22年度第1回評議員会・理事会が開催され、平成21年度事業報告及び決算報告、監査報告等、全ての議案が承認されました。

・議案

第1号議案

(1)平成21年度事業報告(案)及び決算報告(案)について

(2)平成21年度監査報告について

第2号議案 諸規程の改定について

第3号議案 足立区実地検査報告書に関わる回答について

■社会福祉法人あいのわ福祉会 平成21年度事業報告

8月に実施された衆議院総選挙において与野党が逆転し、新連立政権の下「障害者自立支援法」の廃止が決定され、内閣府においては「障害者総合福祉法(仮称)」の制定に向けた「障がい者制度改革推進会議」の議論が本格化しつつあります。併せて「新・社会福祉法人会計基準」制定の方向性も打ち出され、この1～2年は国の施策の大きな変革の時期となります。真に利用者本位の制度設計、支援者の処遇改善、事業者の安定経営が確立できる内容となる様見守っていききたいと思います。

4月から本格稼働した「あいのわ支援センター」を軸に、グループホーム・ケアホーム・短期入所を併設した地域支援型多目的施設の新設を計画し、足立区内の谷中5丁目土地を取得、3月には建設業者も決定し、11月の開設に向けて動きだしました。

法人事務局は、事務の集約・効率化のために全施設の事務部門稼働配分調査を実施し、手始めとして人事・福利厚生関連事務の本部集約及び従来施設単位で契約していた各種保険を法人一括契約として効率化を推進しました。1月に事務局員1名を増員したことにより、次年度以降もさらなる体制強化につとめていきます。

新年度を迎えて(法人全体会議) 4月1日

平成22年度の法人全体会議が、辞令伝達後、足立あかしあ園で行われました。緊張した面持ちの新規採用者12名を迎え、勤務の都合上から出席できない職員もありましたが140名余が出席しました。

理事長からは、法人事業(6施設12事業)の状況を含め、区内の障害者数、また「あいのわ福祉会」利用者数が600人を超える状況になり、父母の会を母体として「障がいがどんなに重くても在宅にさせない。」という理念から出発した法人の役割が、16年経過する中で更に大きな役割を果たしていること。

家族の高齢化に伴い地域生活支援に着目した事業展開(地域支援型多目的施設「あいのわ支援センター谷中」)の建設、各事業所への地域生活相談担当者の設置)をすすめ、ご家族からの相談や将来への不安を少しでも解消していくこと。そのために法人職員として、職員一人ひとりが人として愛され、表裏一体の地道な行動が利用者への信頼につながり、更に「あいのわ」への信頼につながるの訓示をいただきました。

更に、職員が誇りを持って気持ちよく働ける環境づくりを、法人としても更に努力を続けるとのお話がありました。

各事業所の施設長からは、平成22年度事業計画について報告がありました。平成22年4月からの更なる利用者負担の軽減を含め「障害者総合福祉法」の諮問会議が進む状況下での事業計画であり、利用者の地域生活支援を含めた計画が報告されました。また、この事業を支える職員の紹介が事業所ごとにありました。普段、顔を合わせる機会が少なく、個性豊かな紹介もあり和やかな雰囲気の中交流をすすめる機会となりました。

地域社会から要請される内容を的確に把握し、社会福祉法人としての役割を明らかにして、障がいのある方やそのご家族が安心して住み続けられる足立区へと、更なる歩を進めなくてはならないと心を強く意識した会となりました。

足立あかしあ園だより

4月8日、晴天と桜に見守られ、6名の方が足立あかしあ園の新しい仲間となりました。まだまだ慣れない様子もあるようですが、少しずつ園での1日の流れや、仲間・職員の名前を覚えて下さり、それぞれのペースで作業に活動にと取り組んで下さっています。

今年度より利用者は60名、定員いっぱいとなりました。時代と共に、より個々への細やかな支援が必要とされる中、大きな集団で思うように支援が進まない現実もあり、お一人おひとりに光が当たる支援とは何か：悩みながらの出発でもあります。そこで今年度は、改めて個別支援計画とは何かを学び、職員それぞれに考える機会を提供しました。利用者のためにできることは何か。その気持ちを形にできる1年としていきたいと思っています。

また、職員もニューフェイスの方がいらっしやいます。ご紹介は後戴の通りです。どうか今年度もよろしくお願い致します。

(内田)

綾瀬あかしあ園だより

気がついたらあつという間に平成22年度に突入：です。今年度は、新規利用者4名、新規職員3名を迎えて新た

な体制でスタートしました。

4月上旬に、恒例の入所式が行われました。

アットホームな雰囲気の中、新しい方をお迎えしています。新しい環境の中で、本人だけでなく保護

者の方も大きな不安があるかと思いますが、たくさん素敵な先輩たちに力を貸してもらいながら、1日でも早く園に慣れて、充実した生活が送れると良いですね！これからどんな名シーン(?)を見せられるのか楽しみで

みです。今年度は、地域生活相談支援の充実をさせていく事を重点課題としていま

す。利用者さん、ご家族の方にとつて、少しでも気持ちが軽くなるような相談支援ができればと思います。

そのためにも、職員の施設見学



や研修を充実させて取り組んでいこうと考えています。

今年度も宜しくお願い致します。

(森)

竹の塚あかしあのだきずな(生活介護入所)だより

4月に入り新年度が始まりました。季節の変わり目で寒くなったり、暖かくなったりしていますが皆様いかがお過ごしでしょうか？きずなも今年で4年目に突入しました。

この春は『フルート演奏会』が行われ、利用者の皆さんとても楽しそうに演奏を聴いていました。その後は各階に戻り、桜あんまんと飲み物を飲み満足していました。

今年は大々的なイベントとしての花見は行わなかったのですが、散歩などで公園に行き桜をみました。

今後のきずなの行事ですが、6月13日(日)、今回で3度目の『杜祭』を行います。今回のテーマですが、『杜祭2010』祭りだよ！全員集合！となりました。きずなでは、サークルの紹介や作業物品販売などを行う予定です。

サークルは『アート・園芸・レクリエーション・調理』と4班あり、作業は『紙すき・フェルト・編み物』があります。

紙すき班では、ハガキ・メモ帳、フ

エルト班ではストラップ、編み物班は、タワシ作りなどを行なっています。その他、地域の皆様に楽しんでいただけるように色々なお店、イベントがあります。今年の杜祭を楽しみにしていって下さい。是非、杜祭にお越し下さい。

(増淵)

竹の塚あかしあのだきずな(生活介護通所)だより

6月13日に「第3回杜祭」祭りだよ！全員集合」を開催します。5月に入り、みんなで準備に取りかかりました。

「ああ、これ絶対食べよう！」

「フランクフルト、何本食べよう？」

そんなやり取りをしながらのポスター製作をしました。年に1回の施設祭での1番の楽しみはやっぱり模擬店ですよ！

ポスター製作

のほかにも、イベント発表のりハースル、自主生産品の出品準備など行ってい



て、徐々にお祭りムードも高まってきています。

当日は多くの皆様にご来場いただき、楽しんでいただけたらと思います。又感想も寄せていただければと思います。

今回お越しいただけない皆さん！次回は必ず来てくださいね。皆さんがスパイス役になって、杜祭をいい味に仕上げてください。皆さんの熱気できつといい味になるはずです。よろしくお願ひします。

(細野)

大谷田就労支援センター 大谷田ホームだより

大谷田就労支援センターでは、4月下旬に利用者の方がたに成果配分を支給させていただきました。平成21年度の就労継続支援B型事業における売上が約1,960万円になり、材料費、外注費、経費、これまでの工賃を差し引いた額の余剰金を支給させていただきました。

センターに所属する全員が丸となつて取り組んできた成果でもありません。同時に、関係各所の皆様から仕事の紹介や、直接お仕事を頂いたお陰で成し遂げられたものと実感しています。改めて深く御礼申し上げます。

しかし、現状の仕事においては、売上目標に対して2年連続で未達成となりました。もちろん利用者の方々、

職員共に努力をし、一生懸命に取り組んできましたが、結果がついてきませんでした。

この状況の要因について、大谷田就労支援センターの仕事の行い方に限界がきていることを痛感させられています。これまで、工賃を上げようと色々な仕事を受けてきたのは事実です。単価の安い仕事や、不定期の仕事で見込みがつかない仕事によって影響がでてきたことでもあります。これらのことで作業に関わる者の負荷も増えています。

今、我々の仕事自体が転換期にきています。今までのやり方、受け方、受注内容だけでは、成長の見込みがなくなつてきています。今後の課題として、仕事の工夫や、受注の見直し、新たな事業の創出を行う必要があります。大谷田就労支援センターの全員が余裕を持つて取り組み、成長もできるような、新たな一步を踏み出す年度にしていきたいと思います。(酒井)



神明福祉園だより

寒暖の差が激しく雪まで降ってしまった、着ていく服に頭を悩ませていた4

月も終わり、ようやく新緑が芽吹いてまいりました。

神明福祉園では、今年度3名の利用者を迎え、4月7日に入所者歓迎会を行いました。

足立区障がい福祉センターの横田係長をはじめ、東部福祉事務所のご担当者、家族会の皆様、法人理事長、各施設の施設長、本部事務局長にご出席いただき、心よりのお祝いの言葉をいただきました。福祉園の先輩利用者より花束の贈呈を受け、皆さんとびきりの笑顔で答えていました。これからは、神明福祉園の一員として、共に歩んで行きます。



また園では、今年度班体制を若干変更し新規職員も加わり、新たなスタートになりました。新しい方も今までのメンバーも始めは少し戸惑っている様子でしたが、約1ヶ月が過ぎ、徐々に新しい生活にも慣れてきて皆さんとても仲良く活動されています。5月からはお出がはじまり、6月にはファミリーレクリエーション、そして9月の旅行、11月のお祭りなど楽しい1年がスタートします。利用者、ご家族、職員

そして地域の方々との協力しあいながら、充実した1年間を過ごして行きたいと思っています。(杉山)

神明デイサービスセンター だより

デイサービスも賑やかに新年度を迎えました。昨年度は新しく入った利用者さんが多く、話題の幅が広がり、どの方も楽しそうに過ごしておいでです。また今年度は新しい行事を増やす予定です。従来の外出行事に加え、「皆で外食に行こう！」という計画です。デイサービスは週に1回または2回の通所なので、全員の方が行けるまで1年がかりで行います。

普段の活動は各種講習会と自主制作が基本であり、皆さんいつも熱心に取り組んでいらつしやいます。その成果を展示会等に出品したり、他施設で音楽の演奏会を行ったりと、地域活動を少しずつ広げています。6月6日(日)には、佐野住区センターでの福祉まつり「ハート&ハート2010」で音楽講習会の皆さんが演奏を行いますので、ぜひ足をお運び下さい。

今年度も利用者の皆さんが「安全に」「楽しく」過ごせるセンターを目指して職員一同頑張つて参りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。(本間)

神明福祉作業所だより

22年度の神明福祉作業所の入所式は、桜がきれいに咲くなかで、初々しい3名の利用者の入所の式典が行われました。22年度は、あおぞら35名、かりん15名の総勢50名、職員12名でスタートを切りました。昨年度は、新体系のスタートという事もありバタバタしていた印象がありましたが、今年度は、4月1日に満開となった桜の下で、春を感じさせる食事と桜をみんなで楽しんでいました。

今年も様々な仕事や行事と、みんなで力を合わせていく事が沢山あります。5月には利用者の皆さん・家族の方・職員の交流会、6月には

ハート&ハートと楽しい行事が待っています。ところで、昨年度は地域



生活をテーマとして取り組んできましたが、過日に「グループホームってどんな所？」という見学会を実施しました。利用者4名、保護者2名と足立区と葛飾区にあるグループホームへ見学に行きました。利用者の皆さんからは、「どれくらいお金がかかるの？」「休日の過ごし方は？」「イベントは何かあるの？」「病気になるたら？」など、いろいろな質問が次々と出ていました。今後も引き続き、地域での生活をテーマに取り組んでいきたいと思っています。

（神田）

グループホームオハナだより

平成22年度が始まり2ヶ月が立ちました。

オハナでは今年も笑顔の絶えない毎日を送っています。そして、多くのことにも挑戦し、幸せな時間を過ごしていきたいなと思います。

今年度初めての外出として、GWの5月1日に柏の葉らぼーとに外出に行きました。

天候にも恵まれ、美味しいランチを食べたり散歩をしたり、映画を見たり、ちよっと早いですが感謝の気持ち

を込めて母の日のプレゼントを選びました。選んでる時の利用者さんは嬉しそうなお顔をしており、お母さんも喜んでくれました。

これからますます暑くなると思いますが体調には充分に気をつけ、元気に過ごしていきたいと思っています。今年度も宜しくお願いします。

（永山）

あいのわ支援センターだより

あいのわ支援センターが再開して早1年がたちました。今まで、法人内での通所以外の時間についてサポートできる場がなかったため、ご家族の方が一緒に出かけたり又は休日には家で過ごしたりと、余暇時間を有効に利用することが難しかったと思います。実際にご利用者様からも、出かけたけど1人では出かけられない。ご家族の方からは、今まで一緒に出かけられたが自分が高齢になって来るにつれ段々難しくなってきた。そのためか、この1年間で居宅介護事業を中心とした地域生活支援のご依頼が増えてきました。

実際にご要望があった例では、大江戸博物館への見学、野球観戦、横浜中華街など、人気スポットへの外出などがありました。また、少しの時間でも気分転換を図れるよう、公園へ出かけ

たり散歩をしてほしいなどの依頼もあり、依頼内容はご本人様のご要望だけでなくご家族のご要望や介護負担の軽減など幅広くなってきました。

下記には、あいのわ支援センター谷中が開設します。ケアホーム・居宅支援・地域サービスなどのサービスも開始されます。



新しい事業所では、皆様の地域生活をサポートし、少しでも暮らしやすい生活が実現できますよう取り組んでいます。どんな些細なご依頼でもご相談を承りますので、何かありましたらご連絡下さい。（吉見）

◆実績報告(3月～4月)

・居宅支援／移動支援(時間)

身体介護	101時間
重度訪問	89.5時間
移動支援	107時間
合計	297.5時間

・入浴サービス

	人数	実施日
男性	61人	14日
女性	38人	12日
合計	99人	26日

社会福祉法人あいのわ福祉会後援会 平成 22 年度事業計画

- 1 会議
 - (1) 後援会総会 平成 22 年 6 月 8 日（火）開催
 - (2) 役員会・事務局会 随時開催

2 後援会会員との連携の強化

- (1) 目標 入会した会員への連絡を強化し法人及び園活動の理解を深める。

種 別	21年度 実績	22年度 目標
個人会員	70 名	100 名
団体会員	29 口	30 口
特別会員	220 口	250 口

- (2) 各地域懇親会や施設祭を通して、地域理解を深める。
- (3) 各ライオンズクラブ・ロータリークラブや企業・商店街・町会等の団体加盟を促進する。
- (4) 特別支援学校等の若い父母の会会員に入会してもらう。
各園の活動見学会等を実施及び「竹の塚あかしあの杜」のショートステイ事業、あいのわ支援センターを通して理解を深め、父母の会と連携して資金づくり等を含めて活動を促す。
- 3 会報の発行・隔月発行
 - (1) 部数 発行部数 1500 部を目標
 - (2) 編集体制の強化
 - ① 年間編集会議を開催
 - ② 一般の後援会会員も関心、興味が持てる紙面へと更に工夫
 - ③ レイアウト・印刷及び発送は、大谷田就労支援センターで
- 4 会員名簿等の情報整備
- 5 資金援助
 - (1) 法人施設運営・設備等整備費の援助
 - (2) 法人の新事業（あいのわ支援センター谷中）に向けての準備
- 6 後援会主催の会員対象の研修会及び活動
 - (1) 法人の中期計画に基づきケアホーム・グループホーム等の検討
 - (2) 施設見学及び父母の会と共催の研修会 所得保障と成年後見制度等
 - (3) Aふらんき支援 イベント等に協力
 - (4) その他、必要に応じた人的支援 法人及び各施設の企画する行事に協力
- 7 資金づくり
 - (1) 各施設運営維持及び新事業への準備資金として
寄付及び個人会員 1 口 3,000 円、団体会員 1 口 5,000 円、特別会員 1 口 10,000 円
 - (2) バザーに積極的に参加

4 月 4 日	大谷田さくら祭
6 月 13 日	竹の塚あかしあの杜「杜祭」
6 月 19 日	足立区環境フェア出店
7 月 24 日	綾瀬いっしょ祭り
9 月 5 日	足立ふれあいフェスティバル
9 月 26 日	父母の会バザーと共催
10 月 17 日	タートルマラソン全国大会出店
11 月 14 日	イーストウェーブフェスティバル（神明障害福祉施設）
12 月	恒例年末物品販売
 - (3) 食品・日用雑貨を通年で販売
- 8 地域生活の援助
 - (1) あいのわ支援センターの充実
 - (2) 法人中期計画に基づき足立区内にグループホーム（ケアホーム等）の建設検討
 - (3) 共同生活介護ケアホーム「オハナ」・「谷中ハウス」の支援
- 9 その他 会の目的達成のために法人及び法人施設の活動を助成

名前・所属・出身地・趣味等を聞いてみました！

22

年

度

新

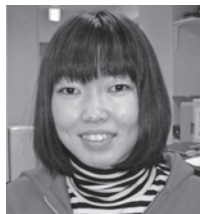
人

職

員

紹

介



名 前：山内 翔子
所 属：足立あかしあ園
Bグループ
出身地：千葉市流山市産
趣 味：ドライブ、ショッピング、カラオケで熱唱！！
特 技：バレーボール（中学生から10年）



名 前：伊藤 麻子
所 属：足立あかしあ園
Bグループ
出身地：千葉県千葉市産
趣 味：漫画の読書（特に井上雄彦 先生のファン、ワンピースも好き）、散歩



名 前：橋本 祥一
所 属：綾瀬あかしあ園
4階グループ
出身地：東京目黒区
趣 味：犬の散歩・ヨガ



名 前：尾臺 順
所 属：綾瀬あかしあ園 ゆいま〜
るグループ
出身地：長野県
趣 味：バスケット観戦・ショッピング



名 前：三宅 学
所 属：綾瀬あかしあ園
ゆいま〜るグループ
出身地：葛飾柴又
趣 味：ロトの出目研究



名 前：伊藤 沙耶奈
所 属：神明福祉園 コスモ班
出身地：東京都
趣 味：映画鑑賞バレーボールを少し



名 前：門前 光俊
所 属：大谷田就労支援センター
出身地：埼玉県さいたま市
趣 味：趣味はサッカー観戦（テレビ）と音楽鑑賞。ライブやフェスにも参加します。
特 技：スポーツです。あとドラムが少しできます。
Winning Eleven 強いです！まずは大谷田カップで優勝したいです。



名 前：齊木 一貴
所 属：大谷田就労支援センター
出身地：東京都
趣 味：サンボ（格闘技）、ワイン鑑賞、読書。
特 技：写真撮影でしょうか。全国誌で撮っていたこともあります。制作は文章作成からデザインまで一通り出来るのも特技といえば特技ですね。



名 前：斉藤 裕美
所 属：ケアホーム オハナ
出身地：千葉県
趣 味：運動・映画鑑賞
利用者さんと笑顔で向き合い充実した毎日を送っていきたいと思います。
どうぞ宜しくお願いします。



名 前：石田 敬
所 属：あかしあの杜のぞみ
出身地：埼玉県草加市
趣 味：映画鑑賞
特 技：卓球
座右の銘：一所懸命

ケアホーム（谷中第1ハウス・谷中第2ハウス）募集要項

今年の12月、あいのわ支援センター谷中がオープンします。障がい者が住み慣れた地域で生活していくための地域支援型多目的施設として、以下のサービスを提供する予定です。

1. 自立支援給付（介護給付費）
 - ・ 居宅支援（居宅介護・重度訪問介護）
 - ・ 短期入所（ショートステイ）（定員4名）
 - ・ 共同生活介護（ケアホーム）（定員6名×2ユニット）
2. 地域生活支援事業
 - ・ 移動支援（ガイドヘルプ）
 - ・ 法人独自事業（有料）
3. 入浴サービス
 - ・ その他（1階多目的ホールを活用したタイムケア、送迎サービス、食事の提供を企画しています。）

■ケアホーム（谷中第1ハウス、第2ハウス）募集要項

サービス内容

- ・ 日常的な生活支援など

入居条件

- ・ 通所施設を利用されている方
- ・ 障害程度区分が区分2以上の方
- ・ 日常生活上の介護を必要とする方
- ・ 常時医療看護を必要としない方
- ・ 確実な保証能力を有する保証人を立てられる方

利用料金

- ・ 入居保証金 30万円（退去時精算）
- ・ 家賃 5万円（所得により家賃助成費制度があります。）
- ・ 共益費 5千円
- ・ 食費 2万5千円
- ・ 光熱水費 1万円

利用者人員推移

（平成22年3月31日現在／人）

	利 用 者									
	定員	前年度末			本年度末			増減		
		男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
足立あかしあ園	58	28	24	52	28	26	54	0	2	2
綾瀬あかしあ園	58	25	22	47	26	21	47	1	▲1	0
竹の塚「きずな」	40	20	20	40	20	20	40	0	0	0
竹の塚「のぞみ」	28	13	12	25	15	13	28	2	1	3
竹の塚「なごみ」	4	（延利用 1,510）			（延利用 1,735）			（延利用 225）		
竹の塚「支援センター」	(-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神明福祉園	40	26	11	37	25	13	38	▲1	2	1
神明福祉作業所	50	29	20	49	29	20	49	0	0	0
神明デイサービスセンター	20	（契約 66）			（契約 73）			（契約 7）		
大谷田就労センター	41	25	5	30	29	6	35	4	1	5
大谷田ホーム	5	0	3	3	1	4	5	1	1	2
オハナ	7	2	5	7	2	5	7	0	0	0
合 計	351	168	122	290	175	128	303	7	6	13

- ・ 利用料 1割（所得により負担上限月額があります。）
- ・ その他日用品、電話料金、生活用品は自己負担となります。

入居者募集期間

- ・ 6月1日～7月15日

入居申込み先

- ・ 法人内施設利用者ー地域生活相談担当者（主任）
 - ・ 法人外の方ーあいのわ支援センター谷中開設準備室（小山）
- 電話：5682-7373

入居者選考

- ・ 法人内入居者選考委員会で決定します。

職員人員推移

（平成22年3月31日現在／人）

	常勤職員			非常勤職員			常勤・非常勤 計		
	前年度末	本年度末	増減	前年度末	本年度末	増減	前年度末	本年度末	増減
法人本部	2	3	1	0	0	0	2	3	1
足立あかしあ園	17	22	5	10	9	▲1	27	31	4
綾瀬あかしあ園	16	18	2	14	14	0	30	32	2
竹の塚「きずな」	38	42	4	19	25	6	57	67	10
竹の塚「のぞみ」	8	11	3	7	5	▲2	15	16	1
竹の塚「なごみ」	3	3	0	0	0	0	3	3	0
竹の塚「事務等」	14	13	▲1	3	5	2	17	18	1
竹の塚「支援センター」	1	3	2	0	1	1	1	4	3
神明福祉園	16	16	0	6	6	0	22	22	0
神明福祉作業所	11	12	1	0	0	0	11	12	1
神明デイサービスセンター	4	4	0	1	1	0	5	5	0
大谷田就労センター	8	11	3	2	0	▲2	10	11	1
大谷田ホーム	2	2	0	4	4	0	6	6	0
オハナ	1	1	0	13	13	0	14	14	0
合 計	141	161	20	79	83	4	220	244	24

後援会だより

（平成 22 年 3 月～4 月） 敬称略、順不同

◇特別会員（1口1万円）

清水康行、平田伊三郎、

足立あかしあ園保護者会（57口）

竹の塚あかしあの杜きずな家族会（35口）

谷在家福祉園家族会（5口）

◇団体会員（1口5千円）

栗駒電気工事株式会社

竹の塚あかしあの杜きずな家族会（5口）

大谷田就労支援センター保護者（7口）

◇寄付者

鈴木靖子、小林麻里子、宮原隆弘

青木愛子、渡辺和彦

綾瀬あかしあ園保護者会

竹の塚あかしあの杜のぞみ家族会

竹の塚あかしあの杜きずな家族会

★今年も多くの皆様からの後援会へのご加入、ご寄付 有り難うございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。★

竹の塚あかしあの杜「なごみ」

短期入所事業利用状況

（平成 22 年 3 月～4 月）

延べ利用人数 76名

内児童

8名

延べ利用日数 212泊

内児童

16泊

編集後記

4月、年度開始にあたり1日に全体職員会が開かれました。その後、各所で入所や入園式があり桜の花も色を添えて、特別支援学校や在宅だった方、又他の施設からの異動の方などをお迎えしました。ちよつぱり緊張気味の新人さんたちが園や地域での生活をエンジョイ出来そうですよう応援しましょう。

さて法人開設以来、利用希望者が増え続けてきましたが、今年還暦になられる方がいらして日々高齢化の道をたどっていることを改めて実感させられます。

通所・入所をはじめ、これまで以上のような支援が求められている中、私たち社会福祉法人としての一層の努力もさることながら、根本的な地域支援には所得保障など制度改革が必要だと思っています。

現在、国で進められています「障がい者制度改革推進会議」（5月末現在で第12回開催）の行方が気にかかります。

障害者基本法の改正・障害者差別禁止法の制定・障害者総合福祉法（仮称）には「地域生活の権利」を明記するなど議論が進められています。遅くとも2013年8月には新たな福祉法制を！とされていますがどうでしょうか。早く落ち着いた政治体制になつて、みんなの声が届いた法改正にしてほしいと思います。



●後援会加入のおねがい●

当法人の事業及び運営施設の発展を願ひ、財政的な援助をしていくことを主として後援会活動を行っております。

一人でも多くの方々に賛同いただき、後援会への加入ご支援をお願い致します。申し込み・お問合せは後援会事務局 電話（3849）1188まで

平成21年度 資金収支計算書（総括）

（平成21年 4月 1日 から 平成22年 3月31日）

（単位：円）

勘定科目	予 算	本年度決算	増 減	特 記 事 項
【就労支援事業による収支】				
就労支援事業収入計(1)	24,429,000	30,794,179	△ 6,365,179	
就労支援事業支出計(2)	24,429,000	29,240,692	△ 4,811,692	
就労支援事業収支差額(3)	0	1,553,487	△ 1,553,487	
【福祉事業活動による収支】				
利用料収入	693,410,240	801,195,274	△ 107,785,034	
足立区委託料収入	247,704,182	194,619,863	53,084,319	
経常経費補助金収入	444,022,000	440,290,851	3,731,149	
都道府県補助金収入	214,440,000	209,675,080	4,764,920	
市区町村補助金収入	229,582,000	230,615,771	△ 1,033,771	
寄附金収入	4,270,000	5,744,315	△ 1,474,315	
雑収入	19,486,000	20,934,691	△ 1,448,691	
借入金利息補助金収入	4,148,000	4,198,250	△ 50,250	
その他収入	15,000	59,597	△ 44,597	
福祉事業活動収入計(4)	1,413,055,422	1,467,042,841	△ 53,987,419	
人件費支出	964,406,306	934,205,871	30,200,435	
事務費支出	246,771,316	228,338,293	18,433,023	
福利厚生費	6,120,000	5,836,565	283,435	
旅費交通費	4,190,000	2,852,690	1,337,310	
研修費	6,932,000	4,869,002	2,062,998	
消耗品費	6,413,000	5,007,475	1,405,525	
器具什器費	1,971,000	3,486,972	△ 1,515,972	
水道光熱費	11,066,000	10,618,198	447,802	
修繕費	15,461,316	11,411,373	4,049,943	
通信運搬費	4,167,000	3,376,529	790,471	
業務委託費	137,187,000	140,839,194	△ 3,652,194	
賃借料	15,611,000	15,008,486	602,514	
雑費	24,509,000	15,422,847	9,086,153	
その他支出	13,144,000	9,608,962	3,535,038	
事業費支出	129,716,800	105,324,663	24,392,137	
給食費	32,729,000	26,250,504	6,478,496	
保健衛生費	7,884,000	6,459,153	1,424,847	
教養娯楽費	21,495,000	16,753,885	4,741,115	
本人支給金	6,946,800	5,174,881	1,771,919	
水道光熱費	35,049,000	29,428,766	5,620,234	
修繕費	2,980,000	891,702	2,088,298	
消耗品費	6,061,000	5,557,533	503,467	
器具什器費	1,828,000	3,448,846	△ 1,620,846	
賃借料	5,030,000	5,141,014	△ 111,014	
教育指導費	5,990,000	4,800,620	1,189,380	
その他支出	3,724,000	1,417,759	2,306,241	
借入金利息支出	4,199,250	4,198,250	1,000	
福祉事業活動支出計(5)	1,345,093,672	1,272,067,077	73,026,595	
福祉事業活動収支差額(6)	67,961,750	194,975,764	△ 127,014,014	
【施設整備等による収支】				
施設整備等収入計(7)	81,240,000	81,723,000	△ 483,000	
施設整備等支出計(8)	143,650,000	296,122,672	△ 152,472,672	
施設整備等資金収支差額(9)	△ 62,410,000	△ 214,399,672	151,989,672	
【財務活動による収支】				
財務収入計(10)	30,560,000	30,560,000	0	
財務支出計(11)	34,370,000	34,310,000	60,000	
財務活動資金収支差額(12)	△ 3,810,000	△ 3,750,000	△ 60,000	
予備費(13)	22,501,750	0	22,501,750	
当期資金収支差額合計(14)	△ 20,760,000	△ 21,620,421	860,421	
【資金残高】				
前期末支払資金残高(15)	0	762,265,812	△ 762,265,812	
当期末支払資金残高(14)+(15)	△ 20,760,000	740,645,391	△ 761,405,391	

平成21年度 事業活動収支計算書（総括）

（平成21年 4月 1日 から 平成22年 3月31日）

（単位：円）

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増 減	特 記 事 項
【就労支援事業収支の部】				
就労支援事業収入計(1)	30,794,179	28,663,329	2,130,850	
就労支援事業支出計(2)	29,240,692	27,910,631	1,330,061	
就労支援事業収支差額(3)	1,553,487	752,698	800,789	
【福祉事業活動収支の部】				
利用料収入	801,195,274	699,210,339	101,984,935	
足立区委託料収入	194,619,863	167,989,827	26,630,036	
経常経費補助金収入	440,290,851	441,631,371	△ 1,340,520	
都道府県補助金収入	209,675,080	213,706,000	△ 4,030,920	
市区町村補助金収入	230,615,771	227,925,371	2,690,400	
寄附金収入	5,744,315	6,554,263	△ 809,948	
雑収入	18,896,601	17,115,013	1,781,588	
借入金元金償還補助金収入	30,560,000	30,570,000	△ 10,000	
福祉事業活動収入計(4)	1,491,306,904	1,363,070,813	128,236,091	
人件費支出	922,445,221	774,700,475	147,744,746	
事務費支出	228,338,293	217,299,189	11,039,104	
器具什器費	3,486,972	4,255,317	△ 768,345	
水道光熱費	10,618,198	11,067,346	△ 449,148	
修繕費	11,411,373	17,823,238	△ 6,411,865	
業務委託費	140,839,194	126,003,039	14,836,155	
賃借料	15,008,486	12,964,020	2,044,466	
その他支出	46,974,070	45,186,229	1,787,841	
事業費支出	105,324,663	115,514,013	△ 10,189,350	
給食費	26,250,504	25,275,614	974,890	
教養娯楽費	16,753,885	17,814,426	△ 1,060,541	
本人支給金	5,174,881	5,634,213	△ 459,332	
水道光熱費	29,428,766	32,853,924	△ 3,425,158	
器具什器費	3,448,846	3,747,765	△ 298,919	
教育指導費	4,800,620	5,437,519	△ 636,899	
その他支出	19,467,161	24,750,552	△ 5,283,391	
減価償却費	89,464,185	90,990,206	△ 1,526,021	
徴収不能額	0	41,422	△ 41,422	
退職給与引当金繰入	9,722,560	8,626,610	1,095,950	
福祉事業活動支出計(5)	1,355,294,922	1,207,171,915	148,123,007	
福祉事業活動収支差額(6)	136,011,982	155,898,898	△ 19,886,916	
【事業活動外収支の部】				
借入金利息補助金収入	4,198,250	4,678,300	△ 480,050	
その他収入	59,597	61,902	△ 2,305	
事業活動外収入計(7)	4,257,847	4,740,202	△ 482,355	
借入金利息支出	4,198,250	4,678,300	△ 480,050	
その他支出	0	0	0	
事業活動外支出計(8)	4,198,250	4,678,300	△ 480,050	
事業活動外収支差額(9)	59,597	61,902	△ 2,305	
経常収支差額(10)	137,625,066	156,713,498	△ 19,088,432	
【特別収支の部】				
施設整備等補助金収入	81,723,000	0	81,723,000	
国庫補助金等特別積立金取崩額	59,737,872	62,107,546	△ 2,369,674	
特別収入計(11)	141,460,872	62,107,546	79,353,326	
国庫補助金等特別積立金積立額	81,723,000	0	81,723,000	
固定資産売却損・処分損	453,906	294,720	159,186	
特別支出計(12)	82,176,906	294,720	81,882,186	
特別収支差額(13)	59,283,966	61,812,826	△ 2,528,860	
当期活動収支差額(14)	196,909,032	218,526,324	△ 21,617,292	
【繰越活動収支差額の部】				
前期繰越活動収支差額(15)	807,515,442	589,466,770	218,048,672	
当期末繰越活動収支差額(16)	1,004,424,474	807,993,094	196,431,380	
その他の積立金取崩額(19)	0	3,522,348	△ 3,522,348	
その他の積立金積立額(20)	0	4,000,000	△ 4,000,000	
次期繰越活動収支差額(21)	1,004,424,474	807,515,442	196,909,032	

平成21年度 貸借対照表 (総括)

社会福祉法人 あいのわ福祉会

平成22年3月31日現在

(単位 ; 円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
勘 定 科 目	当年度末	前年度末	増 減	勘 定 科 目	当年度末	前年度末	増 減
流 動 資 産	864,599,018	852,732,447	11,866,571	流 動 負 債	123,953,627	90,466,635	33,486,992
現金預金	695,725,368	710,032,603	△ 14,307,235	買掛金	5,259,498	5,283,987	△ 24,489
売掛金	2,362,822	1,403,703	959,119	短期借入金	0	0	0
未収金	162,104,677	136,080,724	26,023,953	未払金	112,165,995	79,494,345	32,671,650
立替金	2,438,470	3,460,189	△ 1,021,719	預り金	3,720,536	4,392,303	△ 671,767
前払金	1,967,681	1,755,228	212,453	前受金	1,971,720	1,296,000	675,720
短期貸付金	0	0	0	仮受金	835,878	0	835,878
仮払金	0	0	0	その他の引当金	0	0	0
固 定 資 産	2,086,952,579	1,873,163,068	213,789,511	固 定 負 債	466,754,054	493,479,124	△ 26,725,070
基本財産	1,756,751,672	1,753,887,695	2,863,977	設備資金借入金	422,220,000	456,530,000	△ 34,310,000
建物	2,147,344,882	2,065,088,290	82,256,592	退職給与引当金	44,534,054	36,949,124	7,584,930
土地	414,836,380	414,836,380	0	負債の部合計	590,707,681	583,945,759	6,761,922
基本財産特定預金	1,000,000	1,000,000	0	純 資 産 の 部			
減価償却累計額 △	806,429,590	727,036,975	79,392,615	基本金	124,883,024	124,883,024	0
その他の固定資産	330,200,907	119,275,373	210,925,534				
建物	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	1,182,769,938	1,160,784,810	21,985,128
構築物	1,590,750	0	1,590,750				
機械及び装置	11,069,861	18,649,381	△ 7,579,520	その他の積立金	48,766,480	48,766,480	0
車両運搬具	27,778,546	21,204,728	6,573,818				
器具及び備品	124,269,119	75,625,694	48,643,425	次期繰越活動収支差額	1,004,424,474	807,515,442	196,909,032
建設仮勘定	161,435,000	3,300,000	158,135,000				
減価償却累計額 △	93,976,200	91,034,231	2,941,969	(うち当期活動収支差額)	196,909,032	218,526,324	△ 21,617,292
権利	4,614,457	5,732,217	△ 1,117,760				
投資有価証券	10,000	10,000	0	純資産の部合計	2,360,843,916	2,141,949,756	218,894,160
その他の積立預金	48,766,480	48,766,480	0	負債及び純資産の部合計	2,951,551,597	2,725,895,515	225,656,082
その他の固定資産	44,642,894	37,021,104	7,621,790				
資産の部合計	2,951,551,597	2,725,895,515	225,656,082				

注 記

1 重要な会計方針

- 1) 授産施設会計基準より就労支援事業会計基準への移行(神明福祉作業所、大谷田就労支援センター)
- 2) 職員の退職金に備え、退職共済掛金の積立累計として退職給与引当金を計上 44,534,054 円

2 基本財産の増減の内容及び金額

足立あかしあ園施設改修に伴う増加額等 82,256,592 円

3 担保に供されている資産の種類及び金額

基本財産土地 414,836,380 円
基本財産建物 2,147,344,882 円

担保している債務等の種類及び金額

土地購入借入金(東京都高齢者研究・福祉振興財団) 248,800,000 円
設備資金借入金(福祉医療機構) 173,420,000 円

4 あいのわ支援センター谷中新設に伴う建設事業特別会計の設定

300,000,000 円

その他該当事項は、ありません。

財 産 目 録

(平成22年3月31日現在)

社会福祉法人 あいのわ福祉会

I 資産の部	2,951,551,597	円
1. 流動資産	864,599,018	円
現金預金	695,725,368	円
売掛金	2,362,822	円
未収金	162,104,677	円
立替金	2,438,470	円
前払金	1,967,681	円
仮払金	0	円
2. 固定資産	2,086,952,579	円
(1) 基本財産	1,756,751,672	円
建 物	2,147,344,882	円
土 地	414,836,380	円
基本財産特定預金	1,000,000	円
減価償却累計額 △	806,429,590	円
(2) その他の固定資産	330,200,907	円
構築物	1,590,750	円
機械及び装置	11,069,861	円
車両運搬具	27,778,546	円
器具及び備品	124,269,119	円
建設仮勘定	161,435,000	円
減価償却累計額 △	93,976,200	円
権 利	4,614,457	円
投資有価証券	10,000	円
積立預金	48,766,480	円
その他の固定資産	44,642,894	円
II 負債の部	590,707,681	円
1. 流動負債	123,953,627	円
買掛金	5,259,498	円
未払金	112,165,995	円
預り金	3,720,536	円
前受金	1,971,720	円
仮受金	835,878	円
2. 固定負債	466,754,054	円
設備資金借入金	422,220,000	円
退職給与引当金	44,534,054	円
III 差引純資産	2,360,843,916	円
1. 基本金	124,883,024	円
基本金	124,883,024	円
2. 積立金	1,231,536,418	円
国庫補助金等特別積立金	1,182,769,938	円
施設整備等積立金	43,766,480	円
人件費積立金	5,000,000	円
3. 繰越金	1,004,424,474	円

上記は、財産目録に相違ありません。

平成22年5月25日

社会福祉法人 あいのわ福祉会
理事長 岸本美恵子